

# 令和元年6月末からの大雨による土砂災害

土砂災害発生件数 **158件**

(12市町村：がけ崩れ等158件)

【被害状況】

人的被害：死	者	2名
人家被害：全	壊	4戸
	半	壊
	一部損壊	38戸

※近10年(H21~30)の

年平均土砂災害発生件数 **72件/年**

7/1 鹿児島市本城町（がけ崩れ）



死者：1名  
一部損壊：1戸

令和元年8月31日

7/4 曾於市大隅町（がけ崩れ）



死者：1名  
全壊：1戸

7/3 鹿児島市南郡元町（がけ崩れ）



JR指宿枕崎線

鹿児島市電

南鹿児島駅

7/1 日置市東市来町長里（がけ崩れ）

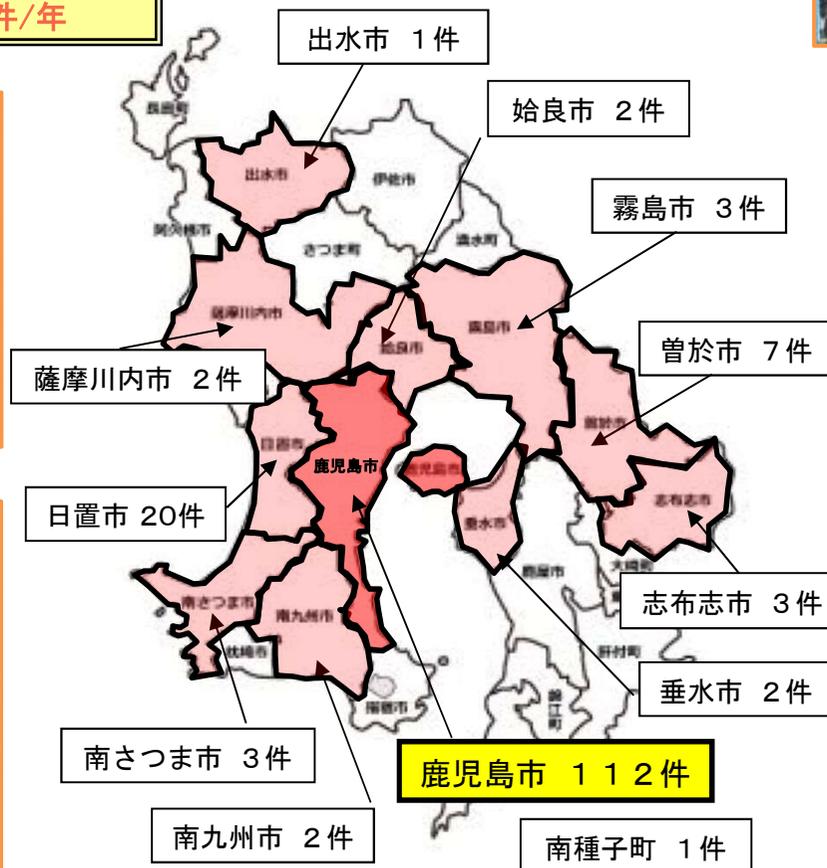


半壊：1戸

7/3 日置市吹上町和田（がけ崩れ）



全壊：1戸



7/3 垂水市海潟（がけ崩れ）



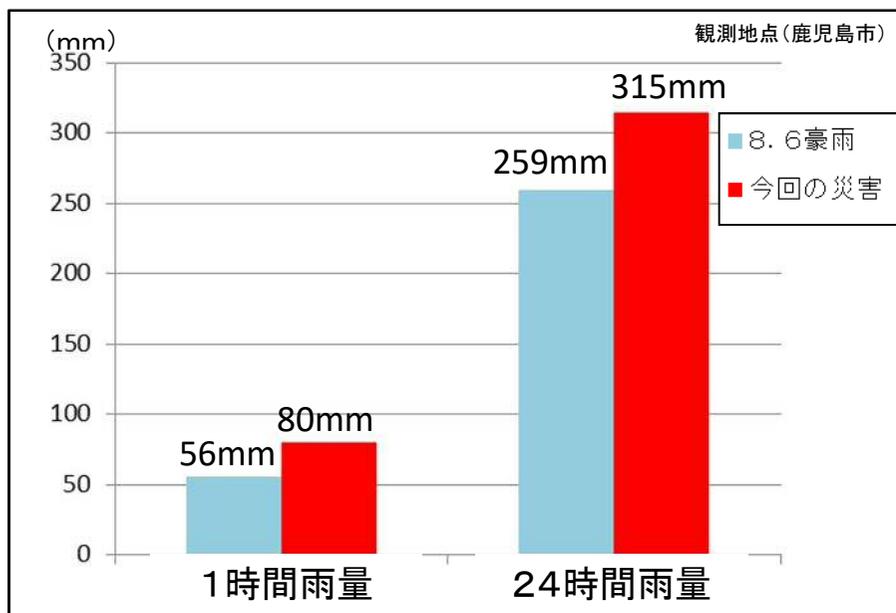
垂水市立協和小学校

# 令和元年6月末からの大雨に関する砂防事業の効果(ハード)

令和元年8月31日

○平成5年の8.6豪雨を受けて、近年大きな被害を受けた地域等に砂防関係施設を重点的に整備してきた結果、土砂災害の発生件数及び被害が減少している。

## (1) 降水量の比較

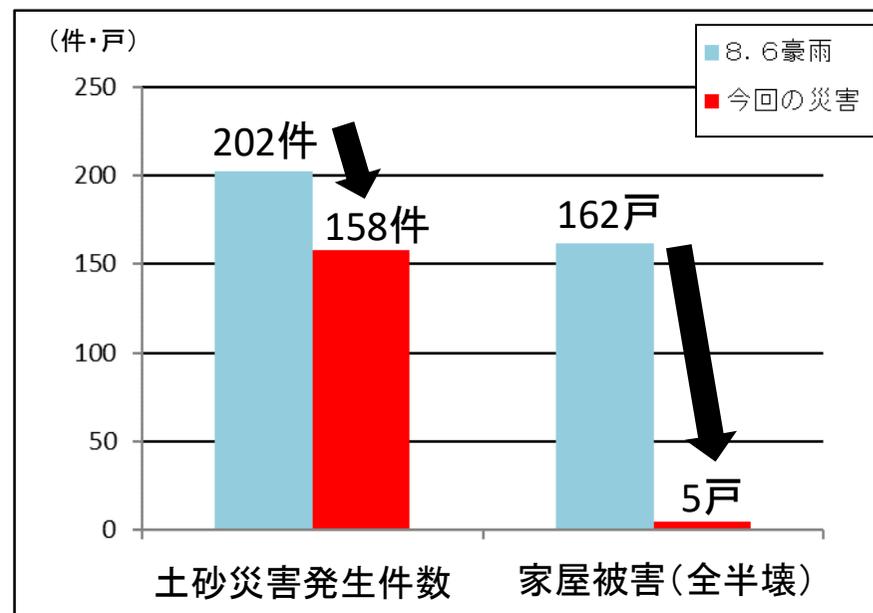


## (2) 砂防関係施設の整備状況

	平成5年当時	平成30年度末	
砂防関係施設設置箇所	871箇所	1,785箇所	【約900箇所増】
整備率	20%	36%	【16%増】

※1 整備率: 対策を必要とする箇所数に対し、施設が設置されている箇所数の割合  
 ※2 施設設置箇所数は、土石流、急傾斜、地すべりの合計値

## (3) 土砂災害の発生件数及び被害の比較



○ 砂防関係施設が崩壊土砂を捕捉  
 (鹿児島市坂之上地区)



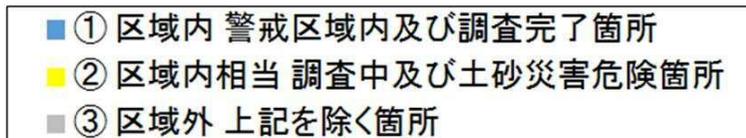
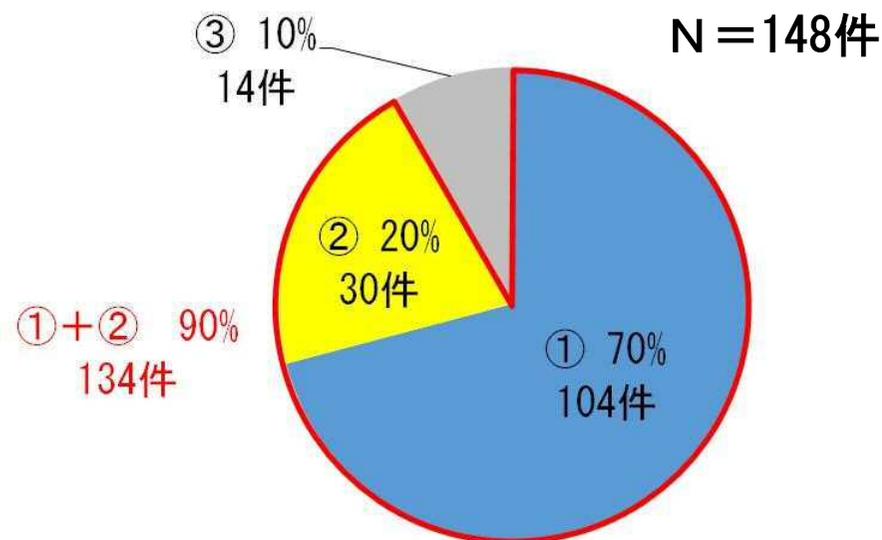
## 土砂災害発生箇所における土砂災害警戒区域の指定状況

令和元年8月31日

- 鹿児島県で令和元年6月28日～7月5日に発生した土砂災害の90%は土砂災害警戒区域内等で発生している。
- 土砂災害警戒区域は土砂災害のリスクを示す重要な情報となっている。

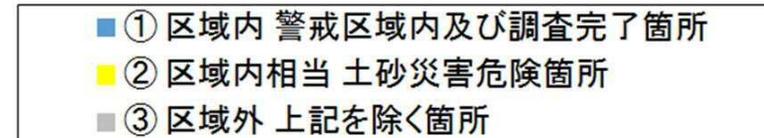
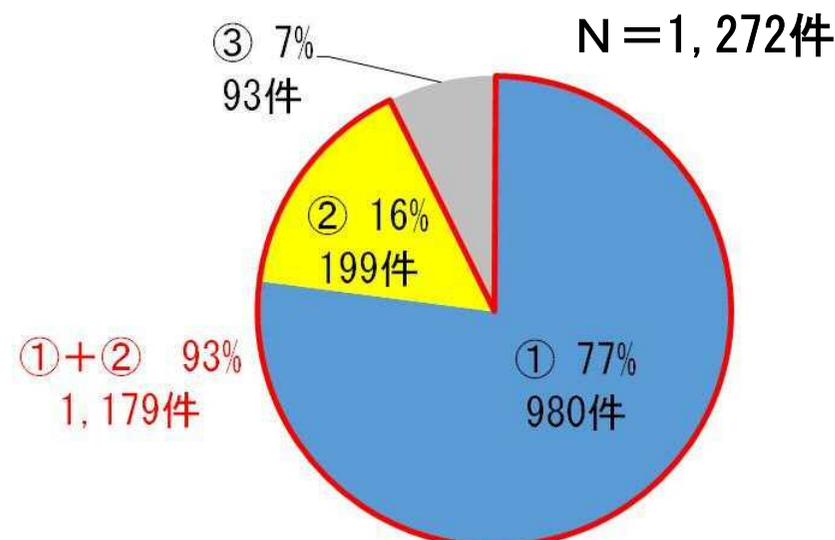
鹿児島県

対象期間：令和元年6月28日～7月5日



全国

対象期間：平成29年



※対象件数：土砂災害発生件数のうち区域指定の対象とならない箇所(例：人家等に近接していない箇所)を除いた件数

# 事前避難により人的被害を免れた事例(鹿児島市田上地区)

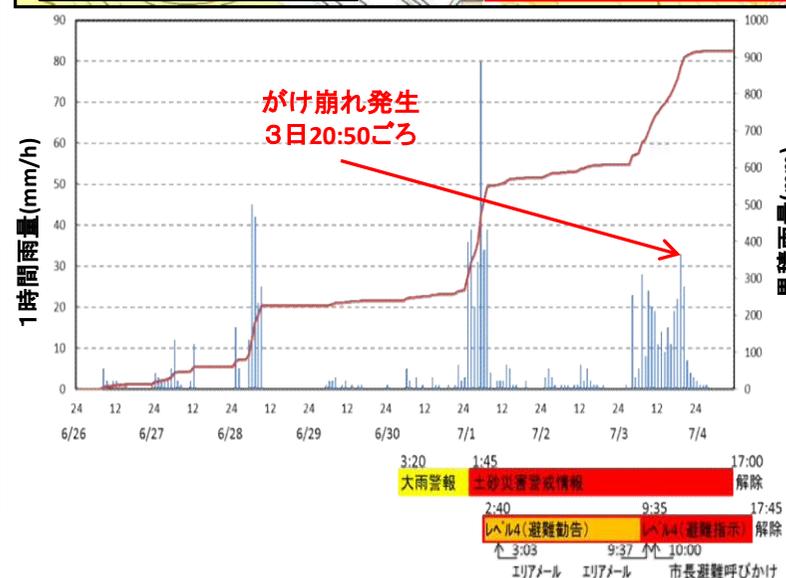
令和元年8月31日

## 1 土砂災害の発生状況

鹿児島市田上地区でがけ崩れが発生し、家屋等が損壊。人的被害はゼロ。(土砂災害警戒区域内)

### ○ 災害発生までの経緯

- 7月1日 1:45 土砂災害警戒情報発表
- 7月1日 2:40 避難勧告を発令
- 7月3日 9:35 避難指示(緊急)を発令
- 7月3日 20:50頃** **がけ崩れ発生**



## 2 今回の大雨時の避難行動

- ① 田上地区住民の男性は、昼頃、町内会長の避難の呼びかけを受け、親族宅へ避難していたことにより、被災を免れた。
- ② 田上地区住民の高齢女性は、午前10時頃、テレビを見て心配になった子供たちから電話で促され、自主避難を行った。

## 3 町内会長の声

- ① 田上地区町内およそ140世帯のうち4分の1の世帯が避難したとみられ、避難を決断した理由は、身近な家族や町内会からの呼びかけが多かった。
- ② 一方、自分が避難するべきなのかどうか判断に迷う人や避難方法、避難場所が曖昧な人が多かった。また地域の災害リスクの内容を十分認識していない人もいた。
- ③ 町内会では、住民1人1人が避難を決断できるように、市や専門家の協力を得ながら、地域の具体的な危険性を調べ、実践的な訓練を行いたいと考えている。(※田上地区では地区防災計画は未策定)

この他3箇所で調査中

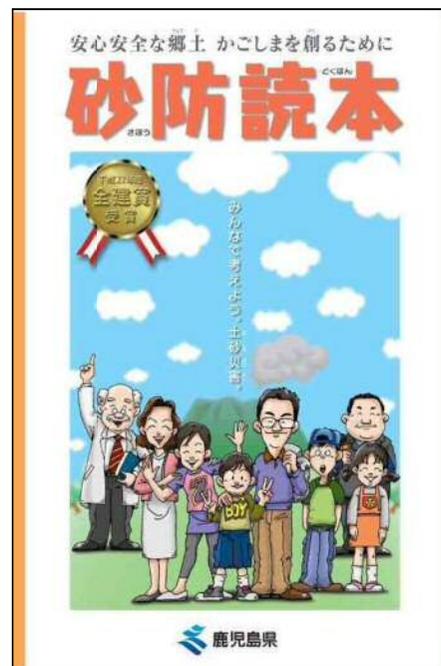
## 豪雨災害を契機とした小中学生への防災教育

鹿児島県大島支庁建設部建設課, 瀬戸内事務所建設課(平成30年度 全建賞受賞)

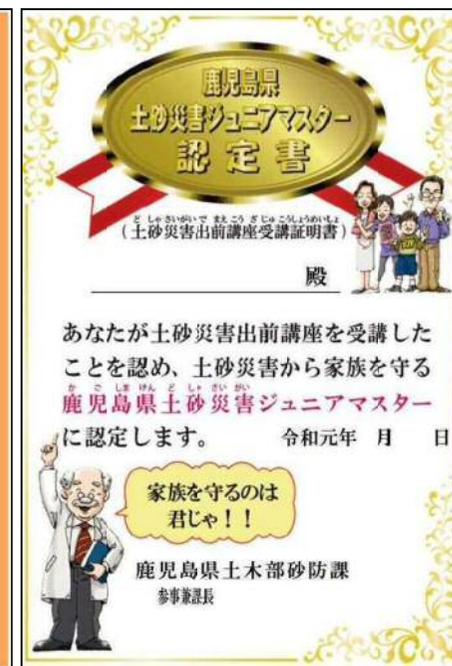
- 平成22年の奄美大島での豪雨災害を契機に, 土砂災害に関する知識等を後生・次世代に伝承するとともに, 災害時の迅速・的確な避難行動に資するため, 鹿児島県職員が小中学生を対象とした出前講座(防災教育)を実施。
- 出前講座には平成23年度から69校延べ1, 600人以上の小中学生が参加。
- 出前講座では「砂防読本」(平成22年度全建賞受賞)を活用するとともに, 参加者に「土砂災害ジュニアマスター」という受講証明書を発行。
- 出前講座の内容を家庭内で広げてもらうことで, 地域の防災力向上に寄与。



土石流の模型実験  
(奄美市立住用小)



砂防読本  
(平成22年度 全建賞受賞)



県土砂災害  
ジュニアマスター認定書